

VeeamのMicrosoft 365 データの保護が他社より 優れている8つの理由

25社以上のSaaSバックアップベンダーがMicrosoft 365の保護を提供しています。その中でも、VeeamはMicrosoft 365データの保護に関して、他社製品にはない独自のメリットを提供しています。



と

その他のSaaS
バックアップベンダー

Veeam製品を通じて安心感を高めましょう。市場シェアNo.1を誇るVeeamは最も実績のあるMicrosoft 365バックアップソリューションであり、2,350万人以上のユーザーによって実証されています（G2、GPI、PS、TRにて4.5/5の評価を受けたMicrosoft 365レビューが800件以上）。



投資の安全性

十分に確立されたソリューションでなければバックアップは守れません。ほとんどの競合他社は500万人以上のユーザーの保護に対応しておらず、1,100万人以上のユーザーを保護している競合他社はありません。実際に、ほとんどのベンダーのレビュー数は100件未満です。

真のオールインクルーシブライセンスであるため予想外のコストはありません。Veeamはユーザーあたりの定額料金で無制限のストレージを提供しているため、データの増加に伴うコストを低く抑えることができます。また、コアライセンスにすべての機能が含まれるため、高度な検索といった主要機能に対する予想外の料金は一切発生しません。



コスト管理

データの増加に伴って予測不能のコストが生じます。多くのベンダーでは、ユーザーあたり50GBを超えた場合に追加のストレージ料金が発生したり、eDiscovery機能など、Veeamでは無償で提供している機能に対して追加料金が発生したりするためです。

バックアップ管理者の負担を軽減します。高度な検索や一括復元といった機能により、手動によるタスクを削減または自動化します。また、カスタマイズ可能なロールベースのアクセス制御（RBAC）を利用して、セルフサービス・リストア・ポータルを介してエンドユーザーへITオペレーターにタスクを委任することもできます。



生産性

日常的なタスクをより多くの時間と労力でこなす必要があります。これは、クロスユーザー検索に対応していないベンダーは、大規模なバックアップから特定のオブジェクトを検索するような高度な機能を備えていないことがあります。競合他社の半分はセルフサービス型のポータルを提供していないため、リストアをエンドユーザーに委任することはできません。

バックアップを世界各地のあらゆるクラウドリージョンに保管できます。パフォーマンスを最適化して、現地のコンプライアンス規制やセキュリティ要件、法的要件への準拠を確保できます。



データの主権性

バックアップを常に必要な場所に保管できるとは限りません。ベンダーによっては、世界中で5~6か所の場所しか提供していないためです。

スピード、スケール、データの回復力、柔軟性が手に入ります。Veeam Data CloudとMicrosoft 365 Backup Storageを単一のプラットフォームにまとめたVeeam Data Cloud Premiumなら必要な機能がすべて揃います。Veeamはデータ量に関わらないユーザーあたりの定額料金であるため、予測可能な価格体系でライセンスコストを低く抑えることができます。

Microsoft 365とEntra IDを単一のプラットフォームで保護することでシンプルさを保ちます。一部のMicrosoft 365データ復元シナリオではEntra IDが必要になるため、非常に便利です。Entra IDとMicrosoft 365バックアップをバンドルすることで、Entra IDユーザー全員ではなくMicrosoft 365ユーザーのみにライセンスを付与するだけで済むため、コストを削減できます。

データ消失を軽減します。1日3回の頻度でバックアップを実行し、8時間の目標復旧時点(RPO)を達成します。

ベンダーロックインを回避してバックアップへの投資を保護します。Veeamなら、お客様はVeeamサブスクリプションの終了後もバックアップを保持できます。また、Veeamのパワフルな無償の検索・復元ツールを使って、バックアップデータを後にMicrosoft 365に復元することもできます。



スピードと
コントロール

他のベンダーは、大規模な環境で必要とされるバックアップと復元のスピードに対応できません。競合他社製品の大半はMicrosoft 365 Backup Storageとの統合がなされていないためです。対応できる一部のプロバイダーであっても、そのプレミアムサービスの価格はユーザー単位ではなく容量単位で設定しているため、Veeamよりもかなり高額な料金となります。



ワークロードとID

Microsoft 365のみを保護します。多くのベンダーはEntra IDの保護を提供していないためです。通常、Entra IDの保護を提供するベンダーは、すべてのEntra IDオブジェクトをサポートしているわけではなく、Veeamよりも多くのユーザーライセンスを必要とします。



RPO

より多くのデータが消失します。その他多くのベンダーは、24時間のRPOに従ってバックアップを1日1回しか実行しないためです。



出口戦略

バックアップベンダーのロックインが生じます。多くのバックアップベンダーは契約終了後にクラウドからのバックアップの移行をほとんど認めていないため、お客様はバックアップが不要になるまで料金を請求され続けます。出口戦略を提示しているベンダーも数社存在し、無償の復元ツールを提供していますが、それらは実用的なものではありません。

→ 弊社の言葉だけでなく、他のお客様の声もご確認ください。350件を超える実証済みのMicrosoft 365の5つ星レビューを[G2](#)、[TrustRadius](#)、[Gartner Peer Insights](#)、[PeerSpot](#)でご確認ください。さらに、[Coca-Cola](#)などの企業がMicrosoft 365をVeeam Data Cloudで保護している理由をご覧になるか、[デモ](#)を通じてその性能についてもお確かめください。